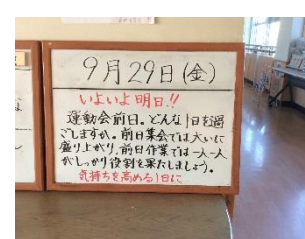
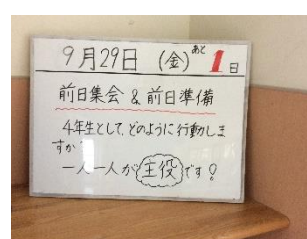
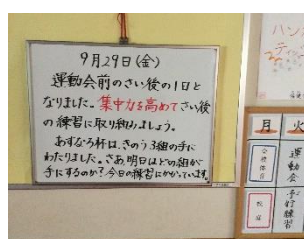


なかよし運動会が教えてくれたこと5 最後は子どもを信じて！

昨日の雨が嘘のようにさわやかな秋晴れの朝を迎えました。
校庭には昨日の雨が少し残っていますが、明日の運動会に向けて全く影響はないようです。

朝、校舎内を回っていると明日の運動会に向けてそれぞれの学年で子どもたちの「心」を大切に育てようとしていることがよくわかります。

なかよし運動会の「不易」の部分は変わってないなあ、と思いながら先生方の子どもたちへのメッセージを読ませていただきました。



明日は担任の先生方は格別の思いで子どもたちの姿を見守るものと思います。
私も当日になって、「ああもっと練習していればよかった」などと、最後の最後まで気になるものでした。でも、応援席から入場門に送り出すとあとは何年生であろうと自分たちでやるしかありません。私たち教師は遠くから子どもたちを見守ってあげることしかできないのですね。

最後は子どもを信じること。

ここにつけるのではないのでしょうか。

明日は教室で過ごす短い時間を大事にして欲しいと思います。

先生方の言葉で子どもたちに自信をもたせて校庭に送り出しましょう。

そして、閉会式を終えて、また担任の先生方のところ子どもたちが戻って来た時、しっかり受け止め、これまでの頑張りを大いに賞賛してあげましょう。

第40回なかよし運動会。この間私たちが一貫してもとめてきたのは「体も心もたくましく、しなやかな子ども」を育てることです。

私たちの今求めている「たくましさ」「しなやかさ」とは何か。

なかよし運動会での子どもたちの姿を通して保護者の方がたにもきっと伝わるものと思います。

さあ、今日は早く帰って明日に備えましょう！

(文責：副校長 手代木)